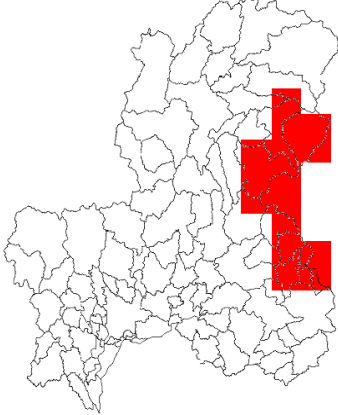


ザリコミ	<i>Ribes maximowiczianum</i> Kom.	準絶滅危惧
		ユキノシタ科
選定理由	分布域の一部において生育条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	<p>写真(岐阜県博物館) 標本</p> 
形態の特徴	高さ2mになる長枝と短枝が不明瞭な雌雄異株の落葉低木。葉は2-5cmで1cm弱の柄があり、3(-5)中裂する頂裂片は三角状に尖る。総状花序に萼(がく)が平開する直径約3mmの淡黄緑色の小花を2-10個つけ、雌花は2(-6)個と少ない。液果は無毛で赤熟する。類似のヤブサンザシは頂裂片が四角状で花が束生し、短枝が明らかである。	
生態的特徴	温帯上部から亜高山帯の明るい林内に生育する。花期は4月下旬-6月。	
分布状況	本州(東北地方南部~中国地方)、四国(高知県)、国外では朝鮮、中国(東北)に分布する。岐阜県においては飛騨地方東部および美濃地方の東部に見られる。	
減少要因	生育地が分断され、生育面積が狭く個体群も極めて小さいため、環境の変化に影響を受けやすい。森林の伐採や林道工事などによる生育環境の変化が主な要因。	
保全対策	開発工事の計画には、事前の調査が必要である。	
特記事項		
参考文献	大井次三郎(1983)新日本植物誌顕花篇: p.816-817. 至文堂 佐竹義輔他編集(1989)日本の野生植物 木本 I : p.159-160. 平凡社	

文責: 後藤常明